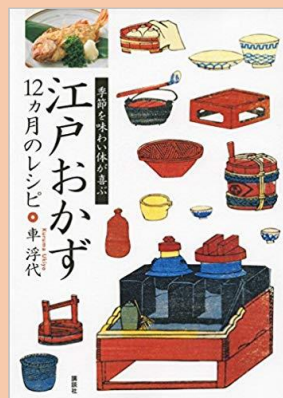


江戸の暮らし



2020年東京オリンピックまであとわずか！

これまでも飛躍的な成長を遂げてきた東京ですが、その発展の基盤になった「江戸の暮らし」に今、再び注目が集まっています。電気やガス、水事情も十分になかった時代に、江戸の人々は四季折々の自然や旬、人間同士の人情を大切に、毎日を思いきり楽しんでいたようです。その暮らしぶりを知ること、日々忙しい現代を生きる私たちの意外な「癒し」が見つかるかも？



図解・江戸の四季と暮らし

河合 敦/監修 学研 386.1/ス/09

一年の四季を通じて江戸の暮らしを紹介した図解本です。テレビ出演も多い、人気歴史研究家河合敦氏監修なので見応えもたっぷり。秋の夜といえばお月見ですが、この頃はお供え用のお団子を近所の子もたちが盗み食いしてもよかったのだとか。神様への供物はみんなでいただくという考えがあり、この時代特有の大らかさを垣間見ることができます。毎日丁寧に暮らすのは難しい現代ですが、この本を読めばちょっぴり江戸時代の風流を感じられるかもしれません。

江戸おかず 12カ月のレシピ

車 浮代/著 講談社 596.21/エ/14

猛暑が続いた今年の夏…。疲れた体に、旬の食材を使った滋養たっぷりの江戸おかずはいかがですか？この本では、色彩豊かでプラス一品にちょうどいい、江戸おかずレシピを月ごとに紹介。さらに「健康」「美容」「時短」などカテゴリー別にもなっていて、私たち現代人にも嬉しい内容となっています。江戸時代には、食材の保存が難しかったため旬の食材を手軽に食べられる工夫がたくさん。江戸おかずで調子を整え、いよいよ本番の“食欲の秋”を楽しみましょう！

善人長屋

西條 奈加/著 新潮社 F/サイ/10

親切で優しい人ばかりが住む、とある一軒の長屋。その長屋は“善人長屋”と呼ばれ周囲の人たちから親しまれていますが、そこに住む彼らには共通の大きな秘密が！ひょんなことから長屋に転がりこんだ「超お人よし」の男・加助の登場で、長屋の住民は秘密を守るために日々奮闘することになります。ストーリーのテンポもよく、時代小説をこれから読んでみようという方にもおすすめの一冊。「おせっかい」や「ご近所付き合い」がめずらしくなりつつある今、ぜひ読んでいただきたい作品です。

春日井市図書館
秋の行事

図書館だより 2018 秋号

読書週間イベント

10月27日(土)～11月4日(日)

【春日井市図書館 おはなしの部屋他】

本の福袋の貸出(27日～4日)
ブラックパネルシアターとお話会(27日)
図書館探検(27日、4日)、大型絵本読み聞かせ(3日)
腹話術と楽しい手品(4日)



本のリサイクル会

11月4日(日) 9時～14時

【文化フォーラム春日井 交流アトリウム】

図書館で不用となった除籍本や除籍雑誌を、
無償でお持ち帰りいただけます。



図書館フェスタ

11月18日(日) 10時～15時

【文化フォーラム春日井 交流アトリウム】

絵本とあそぼう！カラージュワークショップ、点字図書作成体験
録音図書の録音・試聴体験、読み聞かせコーナーなど



閉架図書の利用を停止します

10月2日(火)～26日(金)

蔵書点検のため、春日井市図書館の閉架
書庫に所蔵の図書の貸出・閲覧を停止し
ます。

蔵書点検のため休館します

10月19日(金)～26日(金)

蔵書点検のため、春日井市図書館、
グルッポふじとう図書館、全図書室を
休館します。



- 図書館では静かにしましょう
- 返却日を守りましょう
- 本はやさしく扱きましょう
- 落書きや切り取りをしないで！

春日井市図書館
〒486-0844 春日井市鳥居松町5丁目44番地
電話：(0568) 85-6800
開館時間：午前9時～午後8時
休館日：月曜日(休日の場合はその直後の休日でない日)

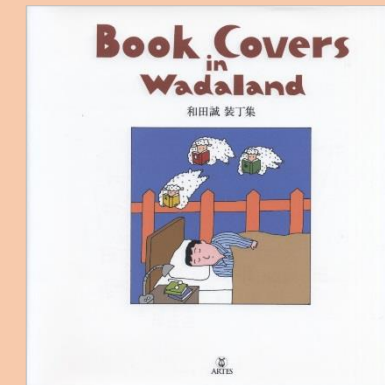
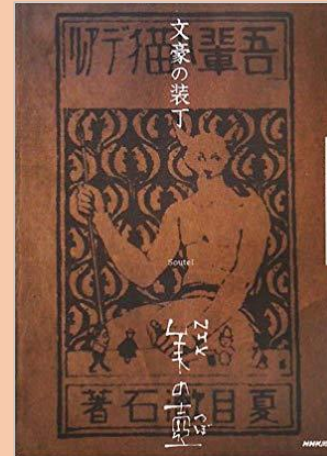
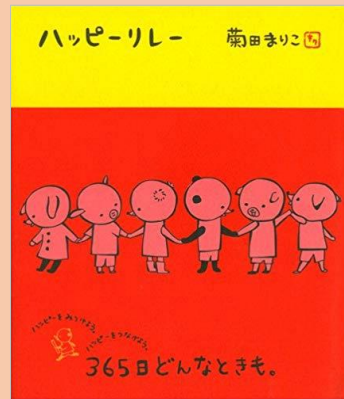
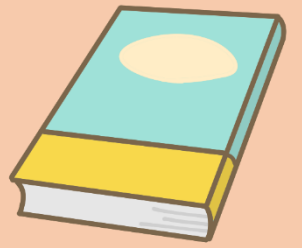
ほっこり

暦の上では夏も終わり…と言ってもまだまだ暑い日が続きますね。それでも朝晩は少しずつ秋の訪れを感じるようになりました。そんな秋の夜長に心がほっこり温くなる本はいかがですか？笑ってスッキリしたり、優しい気持ちになれそうな冊を選んでみました。



装丁

読書の秋ですね。書店で本を選ぶとき、デザインを見て本を手にとることはありませんか？本をデザインすることを装丁と言います。紙だからこその手触り、色、特殊加工を手にとって感じてください。本の顔である装丁の本と、装丁家の仕事のDVDを紹介します。



ハッピーリレー

菊田 まりこ/著 河出書房新社 726.5/ハ/09

幸せはすぐそこにある…。ふだん気にしていないだけで、あなたの周りには小さな幸せがいっぱい！「おいしいものを食べた」「きれいなものを見た」「子どもの成長に気づいた」など、日常のなにげないハッピーに目を向けると、もっともっとハッピーになれそうですね。この本には365日、毎日の小さな幸せが、かわいいイラストで描かれています。ひとつひとつかみしめて、にんまりしながら読みたい1冊です。

わすれられないおくりもの

スーザン・バーレイ/さく・え 評論社 E/ヒヨ/11-22X27

森のみんなが大好きなアナグマが死んでしまいました。動物たちは、悲しみからなかなか立ち直ることができません。けれど、みんなでアナグマのことを語り合ううちに、彼はいなくなってしまうけれど、自分たちにたくさんのことを教えてくれ、思い出を残してくれたということに気づきます。それはかけがえのない宝物です。大切な人の死を題材とした悲しいお話なのですが、読後はなぜか、すがすがしいような、あったかいような気持ちになる絵本です。

和菓子のアン

坂木 司/著 光文社 F/サカ/10

就職も進学も決まらないまま高校を卒業した杏子。食べることが大好きな杏子は、デパ地下の和菓子屋「みつ屋」でアルバイトをすることに…。従業員たちは店長をはじめ個性的な人ばかり、お客さんも様々な人がやってきます。季節の和菓子と、それをめぐってお客さんの謎の行動を解き明かす、ほのぼのとしたミステリー。登場する和菓子はどれもおいしそうで、思わず和菓子屋へ買いに行きたくなりそうです。

文豪の装丁

NHK「美の壺」制作班/編 日本放送出版協会 022.5/フ/08

和紙を綴じて紙の表紙をつけた本から木版画、洋装本まで文豪たちの本を美しく彩る職人の、こだわりの装丁本が紹介されています。図書館で所蔵している「新選名著復刻全集近代文学館」で、夏目漱石『我輩ハ猫デアル』と謝野晶子『みだれ髪』他、文豪たちの名著の素敵な装丁の本をご覧いただけます。

Book Covers in Wadaland (和田誠装丁集)

和田 誠/著 アルテスパブリッシング 022.5/フ/16

和田誠の装丁作品を、カラーで716点紹介した本です。星新一、阿川佐和子、三谷幸喜他、和田誠のデザインが本を楽しく美しく飾ります。一度は手に取ったことがあるブックデザインが紹介されています。

プロフェッショナル仕事の流儀 装丁家 鈴木成一の仕事

日本放送出版協会 DVD/366.2/14-7



月60冊の原稿を読み妥協を許さず、作家、編集者の期待に応える。装丁家鈴木成一の仕事を紹介したDVDです。東野圭吾『白夜行』、豊島ミホ『神田川デイズ』などベストセラーを陰で支える装丁が、いかに繊細な作業かを見ることができます。一冊の本が出来上がる瞬間は感動しました。